

平成 2 2 年千葉市教育委員会会議
第 3 回定例会会議録

千葉市教育委員会

平成22年千葉市教育委員会会議第3回定例会会議録

日時 平成22年3月23日(火)

午後3時00分開会

午後4時25分閉会

場所 教 育 委 員 会 室

出席委員 委員 長 津田 英彦
委員 員 岩沼 静枝
委員 員 内山 英夫
委員 員 梅谷 忠勇
委員 員 和田 麻理
教 育 長 志村 修

出席職員 教 育 次 長 平賀 周 教育センター所長 山下 正敏
教 育 総 務 部 長 青葉 正人 養護教育センター所長 宮田 浩
学 校 教 育 部 長 岩切 裕 生涯学習振興課長 宇留間 正
生涯学習部 長 河野 正行 社会体育課長 井谷 芳明
総 務 課 長 森島 俊之 青少年課長 三野宮純一
企 画 課 主 幹 戎谷 雄二 中央図書館長 作田 明雄
学 校 財 務 課 長 伊藤 太一 学事課調整主幹 山田 輝夫
学 校 施 設 課 長 豊田 滋貴 生涯学習振興課調整主幹 山根 正美
学 事 課 長 吉田 進 総 務 課 主 幹 杉江 達也
教 職 員 課 長 時田 猛 総 務 課 主 幹 大崎 賢一
指 導 課 長 小寺 道明 中央図書館情報資料課主幹 古川 和子
保 健 体 育 課 長 嶋田 信昭 企 画 課 主 査 加茂 進

書 記 総 務 課 長 補 佐 内山 健 総 務 課 経 理 係 長 高橋 義浩
総 務 課 委 員 会 係 長 小池 正彰 総 務 課 主 任 主 事 藤井 拓也
総 務 課 総 務 係 長 南 久志 総 務 課 主 事 犬飼 綾
総 務 課 人 事 係 長 中尾 嘉之

1 開会

津田委員長より開会を宣言

2 会議の成立

全委員の出席により会議成立

3 会議録署名人の指名

津田委員長より岩沼委員を指名

4 会期の決定

平成22年3月23日（1日間）ということで全委員異議なく決定

5 議事日程の決定

議事日程を全委員異議なく決定

6 議事の概要

(1) 非公開事項の決定

議案第14号から議案第16号まで及び協議事項(1)を非公開審議とする旨決定

(2) 報告事項

報告事項(1) 平成22年第1回千葉市議会定例会について

総務課長より報告があった。

報告事項(2) 平成23年度公立学校教員採用候補者選考について

教職員課長より報告があった。

報告事項(3) 千葉市立郷土博物館4階展示室のリニューアルオープンについて

生涯学習振興課長より報告があった。

報告事項(4) 「千葉市図書館サービスプラン2010（案）」に対するパブリックコメント手続の実施結果について

中央図書館長より報告があった。

(3) 議決事項

議案第12号 千葉市教育委員会組織規則の一部改正等について

総務課長より説明があった後、審議。全委員異議なく、原案どおり可決した。

議案第13号 千葉市教育委員会事務専決規程の一部改正等について

総務課長より説明があった後、審議。全委員異議なく、原案どおり可決した。

議案第14号 千葉市学校児童生徒結核対策審議会委員の委嘱について

保健体育課長より説明があった後、審議。全委員異議なく、原案どおり可決した。

議案第15号 職員の人事について

総務課長より説明があった後、審議。全委員異議なく、原案どおり可決した。
議案第16号 県費負担教職員の人事について

教職員課長より説明があった後、審議。全委員異議なく、原案どおり可決した。

(4) 協議事項

協議事項(1) 経理処理に関する調査結果について

総務課長より参考説明の後、協議が行われた。

(5) 発言の要旨

報告事項(1) 平成22年第1回千葉県議会定例会について

津田委員長 総務課長、報告をお願いします。

総務課長 報告事項(1)「平成22年第1回千葉県議会定例会について」、報告します。第1回千葉県議会定例会は、2月22日から3月19日までの会期で、代表質疑、予算審査特別委員会、経済教育委員会、一般質問が行われました。はじめに、教育委員会に係る議案等の審議状況についてですが、先ず、「平成21年度補正予算」、「千葉県社会教育委員設置条例の一部改正」、「千葉県学校心疾患対策委員会・千葉県学校腎疾患対策委員会・千葉県学校脊柱側弯症対策委員会・千葉県史編さん会議の各設置条例の制定」及び「花園中学校改築工事に係る議決事件の一部変更」については、経済教育委員会の審査を経て、いずれも3月19日の本会議で可決されました。また、当局の提出した「平成22年度当初予算案」については、予算審査特別委員会において否決、自由民主党・公明党・新政ちばの3会派より修正案が提出され、3月19日の本会議において可決されました。なお、教育委員会所管についての修正はありませんでした。次に、3月1日から3日に行われた代表質疑についてですが、6会派すべてから教育行政についての質問がありました。主な内容ですが、学校適正配置、スポーツ振興計画、幼稚園就園奨励費、文化財の保護、いじめ・暴力行為・不登校、教職員の精神疾患、子どもの携帯電話、高校授業料無償化、本市の読書環境、幼稚園を活用した子育てのための職員配置事業、学びなおし、青少年補導センター、子どもの権利条約、教員採用選考等です。最後に、3月11日から18日にかけて行われた一般質問ですが、議員22人から質問の通告があり、うち15人の議員が、教育委員会に対して質問を行いました。主な内容ですが、市民ゴルフ場、偉人伝教育、就学援助制度、子どもの読書活動、学校での脳脊髄液減少症対策、屋内運動場の耐震化、生涯スポー

ツ、奨学金制度、教職員の多忙化、平和教育、土気城跡の保存、不動産の取得に係る協定、小中一貫教育、学校教育における就労支援、学校適正配置、郷土博物館、子どもルームと放課後子ども教室の連携等です。なお、会期中に「神明町・出洲港地区における新宿小学校区の維持を求める請願」が、市議会議長あてに提出されましたので報告します。

報告事項(2) 平成23年度公立学校教員採用候補者選考について

津田委員長 教職員課長、報告をお願いします。

教職員課長 報告事項(2)「平成23年度公立学校教員採用候補者選考について」、報告します。平成23年度公立学校教員採用候補者選考は、第一次選考を7月11日(日)に、第二次選考は、小学校以外の志願者を8月20日(金)～22日(日)に、小学校の志願者を8月27日(金)～29日(日)に実施予定です。今年度の主な改善点は2点。第1点目は「特別臨時的任用講師特例」の新設です。特別臨時的任用講師は、今年度の採用選考において、第二次選考で不合格となった者のうち、成績が上位であった者から選ばれ、平成22年度の臨時的任用講師として、小・中・特別支援学校に優先的に配置されます。採用選考は、第一次選考を免除、第二次選考も、模擬授業、適性検査、実技検査が免除され、個別面接と勤務校の学校長による勤務状況調書を含む書類選考のみで実施されます。この制度により、第一次選考合格者に、学校での教育実践に集中させ、優秀な人材が千葉県・千葉市から流出することを防ぐことが期待できます。平成22年度は、小学校18人、中学校8人、養護教諭1人、計27人の特別臨時的任用講師が各学校に配置されます。第2点目は、県外会場の新設です。平成20年度から、岩手県の岩手大学を会場として県外選考を実施してきましたが、第一次選考の県外会場として、秋田会場(秋田市の秋田大学)、北海道会場(江別市の北翔大学)が加わりました。これにより県外からの優れた人材が確保できるものと期待しています。

梅谷委員 岩手会場での受験者数、採用数を示してください。

教職員課長 平成21年度の志願者は全体で2,000人、うち、岩手会場での受験者は600人を超えており、それに伴い、県外採用者も増加しています。

和田委員 県外選考の志願者増が期待されますが、県内志願者の良い刺激となると思います。志願者確保のため、東京都ではバスツアー等

を企画しているようですが、本市では、県外会場として設定した東北・北海道地区等でのPRはどのようにしているのでしょうか。

教職員課長 毎年4月から6月にかけて、全国の大学で説明会を実施しています。なお、今回の県外会場増設は、岩手会場で受験する場合でも宿泊を伴う等、これまでの岩手会場だけでは東北地方全体をカバーすることができなかつたため、岩手会場と競合せず、なおかつ需要がある地区の2会場を、新たに県外会場としたものです。

和田委員 千葉市は都市部ということで不安を感じる受験生もいるのではないのでしょうか。千葉市の良い点を積極的にアピールして、その不安を解消し、人材確保に努めてください。

内山委員 岩手会場での採用実績等について、どのように評価していますか。手ごたえはどうでしょうか

教職員課長 予想以上に志願者が多く、それに伴い、岩手会場の受験者からの採用も増加しました。地元で数年間、講師を経験している者等の人材確保につながっています。

岩沼委員 採用選考については、毎年度改善が図られており、優秀な人材確保に対するモチベーションを感じます。県外会場の運営等で苦労はあると思いますが、引き続き優秀な人材確保に努めてください。

和田委員 「教職たまごプロジェクト」について説明をお願いします。

教職員課長 特に、小学校及び特別支援学校の教員を志望する大学3、4年生、大学院生、短期大学2年生を対象とした教職のインターンシップで、年間30日以上、学校で実践的な研修を積ませるものです。小学校の場合、採用後、学級担任として配置されることが多いため、より実践的な研修を事前に積むことは有効であると考えます。今年度は83人が参加しており、4月からは新たに115人の希望者があります。

梅谷委員 大学においても、文部科学省の指導で一人一人の学生を追跡調査し、教職経験を学年ごとに評価・フォローしていくこととしています。

津田委員長 これまでの会場ごとの受験者数、採用者数を別途報告してください。

報告事項(3) 千葉市立郷土博物館4階展示室のリニューアルオープンについて

津田委員長 生涯学習振興課長、報告をお願いします。

生涯学習振興課長 報告事項(3)「千葉市立郷土博物館4階展示室のリニューアル

オープンについて」、報告します。郷土博物館においては、今後、原始・古代から現代までの通史展示を計画しておりますが、今回の4階のリニューアルについては、通史展示の一環として、閉鎖されていたプラネタリウム室跡を展示室に改修したものです。オープン予定日は4月1日、展示物は現物資料・写真パネル・図等70点です。展示内容ですが、先ず、「明治時代の千葉」は、明治6年の千葉県成立から、千葉町に県庁が置かれ、明治22年の町村制施行により、寒川村・登戸村・千葉寺村・黒砂村と町村合併し、現在の千葉市の基礎が築かれたことまでを示しています。展示項目としては、「太政官布告」、「県庁・病院関係資料」等を予定しています。「大正時代の千葉」は、大正10年、市制施行により人口3万人余りの千葉市が誕生、同年、船橋・千葉間に京成電車が開通しました。展示項目としては、「市政施行」、「電車開通」、「中心商店街の成長」等の関係資料を予定しています。「昭和 戦前・戦中・戦後の千葉」ですが、戦前、軍施設の増設や大学病院の建設等が続き、交通機関も整備され、市内は活況を呈しました。戦中は、昭和20年の2回の空襲により市街は壊滅し、市内は経済活動が統制され、不自由な生活を余儀なくされました。戦後は、旧軍用地の多くが農地として開拓され、また、京葉臨海工業地帯等の工業開発が行われました。展示項目としては、「市民生活関連資料」、「教科書等の教育関係資料」、「千葉空襲写真」、「市街地図」等を予定しています。また、体験コーナーとして、戦前の住宅・昭和40年代の団地等の住宅内を再現し、日常生活の道具や資料に直接触れることのできるスペースを設置します。資料コーナーでは、壁面を利用し、写真パネルを入れ替えながら展示するとともに、フロアに4つの映像展示装置を設置します。明治時代の黒砂海岸や大正2年に建てられた千葉市庁舎の写真、市街のスケッチ等のスライドショーや、「躍進する千葉市」等のビデオ映像、DVD映像等を放映します。開室時間は午前9時から午後5時までです。

和田委員 説明員は配置されますか。

生涯学習振興課長 現在、3階の千葉氏に関する展示については、ボランティアの方による説明が行われていますが、4階については、戦争体験を語るボランティアの方を秋以降に募集する予定です。

報告事項(4) 「千葉市図書館サービスプラン2010(案)」に対するパブリックコメント手続の実施結果について

津田委員長 中央図書館長、報告をお願いします。

中央図書館長 報告事項(4)「『千葉市図書館サービスプラン2010(案)』に対するパブリックコメント手続の実施結果について」、報告します。パブリックコメントの募集期間は2月1日から3月2日までで、個人43人と4団体の計47人の方から96項目、198件のご意見をいただきました。章別の意見数については表のとおりです。「千葉市の図書館サービスの方向性が示されたことを評価する。」、「良い取組みであり継続してもらいたい。」等のご意見があった一方、指摘事項としては、ボランティアの「活用」という表現について、ボランティアの活動内容について、ボランティア養成の考え方について、ボランティアと学校図書館との連携の在り方について、図書館サービスの中でのボランティアの位置付けを明確にすべき等、多くの意見をいただきました。現在、最終的なプラン策定に向け精査中ですが、いただいたご意見を積極的に取り入れ、多くの市民の意向を反映したプランにしたいと考えています。

内山委員 平成20年4月現在で、ボランティアの方が116人とのことですが、その後、増員は図られているのでしょうか。

中央図書館長 ボランティアの人数は変更ありません。現在、中央図書館へ集約して派遣する形態を採っていますが、今後、地区館へ振り分けて対応していきたいと考えています。

議案第12号 千葉市教育委員会組織規則の一部改正等について

津田委員長 総務課長、説明をお願いします。

総務課長 議案第12号「千葉市教育委員会組織規則の一部改正等について」、説明します。平成22年4月1日付け組織改正に伴う所要の改正等を行うほか、規定の整備を図るため、規則の一部を改正し、又は規則を廃止しようとするものです。改正等の具体的内容ですが、「組織改正に伴う所要の改正」、「副校長及び主幹教諭を設置するための所要の改正」、「教職員住宅の廃止に伴う所要の改正」、「附属機関等の見直しに伴う所要の改正」、「その他規定の整備」等です。これらの改正等を行うため、千葉市教育委員会組織規則の一部を改正するほか、関連する規則等を改正し、又は廃止するものです。この訓令により改正しようとする規則は、「千葉市教育委員会組織規則」、「千葉市教育委員会公印規則」、「千葉市立小学校及び中学校管理規則」、「千葉市教育センター運営協議会規則」、「千葉市教育功労者表彰規則」であり、廃止しようとする

る規則は、「千葉市教職員住宅管理規則」、「千葉市青少年補導センター設置条例施行規則」、「千葉市少年自然の家管理規則」です。施行期日は、平成22年4月1日です。

青少年課長 本議案に関連して、青少年課の業務が移管されます「こども未来局」について説明します。まず、「こども未来局」の組織についてですが、「こども未来局こども未来部」に「こども企画課」をはじめ4課と「児童相談所」が所属します。青少年課の業務は、「健全育成課」で所管し、主に育成係で担当することとなります。青少年補導センターと自然の家についても、健全育成課で所管することとなり、青少年補導センターの名称が「青少年サポートセンター」に変更されます。なお、現在の青少年課所管事業は、健全育成課において、継続して実施していくこととなり、成人式についても教育委員会との共催で実施する等、今後とも教育委員会、学校、地域との関係を保ち、深めながら子どもたちのための施策を展開してまいります。

議案第13号 千葉市教育委員会事務専決規程の一部改正等について

津田委員長 総務課長、説明をお願いします。

総務課長 議案第13号「千葉市教育委員会事務専決規程の一部改正等について」、説明します。平成22年4月1日付け組織改正に伴う所要の改正等を行うほか、規定の整備を図るため、訓令の一部を改正し、又は訓令を廃止しようとするものです。改正等の具体的内容は議案第12号と同様で、「千葉市教育委員会事務専決規程」の一部を改正するほか、関連する訓令等を改正し、又は廃止するものです。この規則により改正しようとする訓令は、「千葉市教育委員会事務専決規程」、「教育課程編成の基準に関する規程」、「千葉市教育委員会公文書取扱規程」であり、廃止しようとする訓令は、「千葉市教職員住宅入居者選考委員会規程」です。施行期日は、平成22年4月1日です。

議案第14号 千葉市学校児童生徒結核対策審議会委員の委嘱について

委員長 保健体育課長、説明をお願いします。

保健体育課長 議案第14号「千葉市学校児童生徒結核対策審議会委員の委嘱について」、説明します。現在の委員が本年3月31日をもって任期が満了するため、千葉市学校児童生徒結核対策審議会設置条例第3条の規定により、新たに委員を委嘱するものです。委嘱日は平成22年4月1日、任期は4月1日から平成23年3月31日までの1年間、委嘱する委員は「千葉市保健所長 池上宏」他

6人です。委員構成は千葉市保健所長及び財団法人千葉市医師会推薦の6人で全員が再任です。本審議会の概要についてですが、委員数は7人、本市児童生徒の結核健康診断の実施、状況把握、患者発生時の対策について審議することを目的に設置しております。今年度は、平成22年2月2日に会議を開催し、平成21年度の結核検診事業の経過及び結果について及び平成22年度の結核検診事業についてご審議いただきました。

議案第15号 職員の人事について

委員長 総務課長、説明をお願いします。

総務課長 議案第15号「職員の人事について」、説明します。平成22年3月31日付け及び同年4月1日付けの5級以上の職員の人事について、千葉市教育委員会組織規則第8条第5号の規定に基づき、議決を求めるものです。先ず、3月31日付けの人事発令は、「学校教育部長 岩切裕」他13人の定年退職者、「学事課長 吉田進」他30人の学校への帰任者等及び文部科学省に帰任する「総務課主幹兼企画課主幹 杉江達也」へ退職の発令をするものです。次に、4月1日付け人事発令については、市長部局、学校現場等との人事交流による組織活性化及び定年退職者等による欠員の補充を基本とし、適材適所の配置に努め、発令を行うもので、局長級では、「教育次長 平賀周」が市長事務部局へ出向し、その後任に「武田昇」、部長級では、「教育総務部長 青葉正人」、「生涯学習部長 河野正行」が市長事務部局へ出向し、その後任に、それぞれ「西田典夫」、「宇留間正」、参事級では、「中央図書館長」に「鹿間陸郎」を発令するほか、課長級で31人、課長補佐級で46人に、それぞれ発令します。なお、「花見川図書館長」に「中央図書館情報資料課主幹 古川和子」を発令する等、女性職員の登用にも努めているところです。次に採用ですが、学校現場等から事務局への採用者として、課長級の「学事課主幹 佐藤宏喜」をはじめ29人を新たに採用するものです。また、文部科学省より「小林克嘉」を「企画課主幹」として招聘します。

議案第16号 県費負担教職員の人事について

委員長 教職員課長、説明をお願いします。

教職員課長 議案第16号「県費負担教職員の人事について」、説明します。平成22年4月1日付けで、副校長に関する管理職人事を発令するもので、千葉市教育委員会組織規則第8条第5号の規定に基づき議決を求めるものです。「現・千葉市立稲毛高等学校附属中学

校教頭 中山行雄」を「同校 副校長」として新たに採用します。附属中学校は開校3年目を迎え、今年度、1年から3年まで全学年が揃います。学校運営についても、中学校、高等学校それぞれの教員に兼務発令をしており、中高一貫教育校としての体制を整え、校務も軌道に乗って円滑に進められていますが、高等学校の校長が中学校長を兼務している状況があるので、今後、副校長を配置することで、より円滑な校務の遂行が期待できるものと考えています。

協議事項(1) 経理処理に関する調査結果について

委員長 総務課長、説明をお願いします。

総務課長 協議事項(1)「経理処理に関する調査結果について」、説明します。本市では、「経理適正化推進本部」及び「経理処理調査委員会」を設置し、平成21年9月から、経理処理に関する全庁調査を進め、12月24日の定例記者会見で中間報告を行いました。調査対象は、平成19年度の消耗品費、旅費、賃金の経理状況、対象部局は、全庁の460課・所等です。消耗品費については、市の支出記録と業者の納品記録の突合を行い、不適正な経理処理が行われていないかを調査し、賃金・旅費については、目的に従って適正に支出されているか自主点検を行いました。教育委員会分に係る調査結果ですが、賃金・旅費に関しては不適正な処理はありませんでした。消耗品に関しては、「預け金」、「一括払い」、「差替え」、「翌年度納入」、「前年度納入」、「先払い」の不適正処理区分合計で、学校以外の教育委員会事務局分は119件、2,405,126円、学校分は649件、21,568,891円、合計で768件、23,974,017円の不適正処理がありました。なお、千葉市全体では1,838件、50,300,731円でした。次に、平成19年度分調査において解消が確認できなかった預け金ですが、事務局で1件、12,684円、学校で5件、303,460円です。また、2月から3月にかけて実施した、不適正な経理処理の原因調査では、「不適正な経理処理で調達した物品であっても、私的に流用するのでなく業務に使用するのであれば許容される」、「不用額が生じると、翌年度以降の予算が減額される」等の誤解、「指定検査員による調達物品の検収が不十分」等が明らかになりました。なお、今後、「経理適正化推進本部」及び「経理処理調査委員会」により、調査結果、原因・背景、再発防止等について検討し、最終報告をまとめ、4

月末に公表する予定であるとのことです。

委員 原因調査の結果で、「個人の利益にならなければいいと考えた。」とありましたが、現場において、予算の面、調達手続きの面から、本当に必要なものであっても、このような不適正といわれる処理をしなければ調達できない状況になっているということはないですか。同じく、原因調査の結果で、「不用額を出すと予算が減額される。」とありましたが、予算編成において、そのようなやり方が行われているのでしょうか。

総務課長 1点目については、予算編成の段階で予定しておらず、予算措置もしていない物品を調達しようとする場合は、協議が必要となる等、手続きの煩雑さはあるかと思いますが、通常の調達においては、ご質問のような状況にはないと考えています。また、2点目については、予算が余った場合、計画外の調達により使い切るのではなく、不用額として整理することとなっています。

7 その他

(1) 教職員のメンタル面に関する研修の実施について、岩沼委員より質問があった。これに関連し、次のとおり質疑応答等があった。

岩沼委員 教職員研修について、職務上の技術、能力を向上させる研修以外に、モチベーションアップ、ストレスコントロール等、メンタル面に関する研修は実施していますか。保護者の立場からすると、教職員はできるだけ精神的な余裕を持った状態で子どもたちに接してもらいたいと思います。教育現場の多忙化が問題視されている中、余裕がなく、ストレスを抱えながら児童生徒の指導や学級運営等を進めていると、判断が狂ってしまうようなこともあると思います。そのようなことを防止するためにも、教職員のメンタル面に関する研修は重要ではないでしょうか。

教育センター所長 教育センターでは、夏季休業期間中に専門研修として「教職員のメンタルヘルス講座」を実施しています。退職校長を講師として、教職員の精神疾患の状況、予防対策、早期発見の方策等についての研修で、今年度は約70人の参加がありました。また、新任管理職研修でも、人事管理の面を含めてメンタルヘルスに関する研修を実施しており、特に、新任教務主任研修では、メンタルヘルス度チェック等の演習を交えて、自身のことだけでなく、学校現場で他の教職員に接する際のヒントとできるような研修を実施しています。また、ストレスの大きな要因として、コミュニケーションがうまく取れないことが挙げられますので、特に、

初任者研修における、コミュニケーション能力の育成や、新任教頭研修における、「これからの学校づくり」と題した、保護者や地域住民とのコミュニケーションについての研修を実施しています。

教職員課長 平成20年度より「教職員ヘルシーシステム事業」を開始し、年間各区3校ずつを産業医・学校医が巡回訪問し、精神疾患の未然防止のための講話や健康相談等を実施しています。併せて「ストレスセルフチェックシート」を使用し、自身のメンタル面がどのような状態にあるのかをチェックし、必要に応じて個人面談を実施しています。また、年代別の研修として、5年目までの若手と50歳台のベテラン層に対して、精神科医、産業医を講師としたメンタルヘルスの研修を実施しています。このように、研修機会は増えましたので、今後は、学校現場で各自がセルフチェックを定期的に行い、その結果により、専門医に相談するなどして、長期の療養に至らないような体制を定着させていきたいと考えています。

津田委員長 メンタル面の問題はどの職業でもあると思いますが、特に教員の場合、子どもへの影響を考慮する必要があるので、現在のきめ細かい取組みを継続し、さらに充実させてください。

梅谷委員 初任者で、1年以内に長期療養や退職となってしまった方はどの程度いるのでしょうか。

教職員課長 1年以内に退職する初任者は、毎年度、採用者数の1%程度ですが、今年度は例年より多く、7人が退職となっています。自己都合による退職もありますが、何例かは、療養休暇のまま回復せず退職となっています。新任者の場合、特に同期のネットワークづくり、コミュニケーション能力の向上が重要であると考えており、平成21年度からは、最初に宿泊を伴う研修を組み込むなどして、よりきめ細かなバックアップを進めています。今後も、さらに効果的な初任者研修について研究していきます。

(2)「高浜第二小学校と高浜第三小学校との統合に関する要望書」の提出について、企画課より報告があった。

企画課主幹 「『高浜第二小学校と高浜第三小学校との統合に関する要望書』の提出について」、報告します。「高洲・高浜地区学校適正配置地元代表協議会」では、高浜地域の小学校の統合について協議が進められておりましたが、この度、高浜第二小学校と高浜第三小学校との統合について合意が成立し、本日、統合に関するの

要望書が教育長へ提出されましたのでお知らせします。同協議会からは、平成21年9月9日に「高洲第一小学校と高洲第二小学校との統合に関する要望書」が教育長に提出されたところですが、引き続き、高浜地域の小学校の統合について協議を進めた結果、第16回協議会において、高浜第二小学校と高浜第三小学校との統合が合意し、本日、要望書が教育長へ提出されました。要望書の内容ですが、統合校は高浜第三小学校の位置とし、大規模改修工事が完了するまで高浜第二小学校を仮校舎として使用すること、開校は平成24年4月とすること、施設の大規模改修工事を実施すること、特別支援学級を統合校に引き続き設置すること、跡施設の利用について地元要望に配慮すること等となっています。今後の予定ですが、要望書について内容を精査した上で、次回の教育委員会定例会に提案し、議決を得た後、新設校の開校に向けて、統合準備会を設置して準備を進めていきます。特に、児童生徒の事前交流事業についてはしっかりとやっていきたいと考えています。

(3) 次回第4回定例会は、平成22年4月21日（水）午後2時00分より開催することと決定した。

8 閉会

津田委員長より閉会を宣言